

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン （経理担当）	来客数の動き	・楽観はできないものの、半年前に比べれば景気は確実に回復している。前年の11月を底に消費が上向いているほか、春を迎えたことが転機となり売上、来客数が増え始めている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・1品単価は下がっているが、それ以上に販売量が増えているため、売上が伸びている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・月末の土曜日に商店街のラッキーポイントを使った抽選会を行っており、同じ物を買うなら商店街で買うといった客が増えつつある。また、ラッキーポイントを集めている客が店に抽選券を欲しがると、店主が戸惑う事態になりつつある。最近増えている100円商店街も良いが、地道に商店街のファンを増やすことでチャンスが出てきている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・特別な広告品があったわけではないが、客に買おうとする雰囲気があり、久しぶりに販売量が伸びている。今までは気に入った商品があっても、購入を少し悩んでいたが、節約や我慢に疲れて少しぜいたくしようとする雰囲気がある。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・売上が若干増加している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・店全体の売上、来客数共に前年比で100%に達している。当店の売上が安定してきたのと同時に、競合店も改装オープンでにぎわっているなど、客の消費に対するマインドが徐々に高まってきている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・前月に続き、今月も好調なスタートとなったが、天候不順の影響で身の回り品や食料品の売行きが低迷している。一方、特選ブランドや宝飾品などの高額品は順調に動いている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・4月は天候不順で前年よりも条件は悪いが、売上は3か月前よりも約4%回復している。特に、婦人服、特選衣料品の動きが良いほか、物産展や新規のイベントでは来客数、売上共に目標を上回るなど、客の反応は良い。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・食料品部門の実績が回復している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・輸入、国産品を含めた人気ブランド品の動きが、衣料雑貨を中心に活発になってきている。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・これまで売上の前年比は2けた減が続いていたが、2か月前から減少幅が小さくなっている。今月は3~4%減と更に縮小が進んでいる。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・改装工事で営業面積が減少して丸1年が経過し、ようやく売上が前年と同じ水準で推移している。天候不順で春物衣料は低迷しているものの、スプリングコートの売上は前年を大幅に上回っている。
		百貨店（婦人服担当）	販売量の動き	・天候不順もあり、スプリングコートなどがよく売れている。高額品は売れる物と売れない物がはっきりしているが、3か月前に比べて売上の前年比は良くなっている。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・特価品の動きが非常に好調であったほか、不振の続いていた定価品の売上も前年並みにまで回復している。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・食料品は野菜価格の上昇に伴う緊急放出セールの効果もあり、来客数が前年比で5~6%増と増加傾向が続いている。生活関連もエコポイント制度の延長で中旬以降は増加傾向となっている。一方、衣料品は来客数が5%減と悪く、特に気温の低下で初夏物が苦戦している。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・週末だけではなく平日も来客数が回復傾向にあるなど、日常的に外食する動きが出てきている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・気候が良くなるのに伴い、外食の機会も増えている。ただし、わざわざ繁華街へ行くよりも、近場の店に行く傾向があるため、一気に忙しくなっているわけではない。	

	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前に比べれば少しは良くなっている。ただし、今月は花見客などの動きはあったものの、月末は天候も荒れたため来客数が減っている。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・景気のよし悪しの判断は難しいが、来客数と客単価が若干回復している。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊は、客単価の低下で売上は前年を下回っているものの、一時に比べると宿泊客数は上向いている。宴会も上向いてはいるものの、恒例の就職説明会が激減したことで売上は減少、レストランのランチは堅調であるが、ディナーは個人客を中心に最悪の状態が続いている。近隣では大手居酒屋チェーンが撤退を始め、代わりにファミレスが相次いで進出しているなど、街の様子が変わってきている。
	都市型ホテル (役員)	来客数の動き	・宿泊部門は、価格競争で客単価が落ち込んでいるものの、宿泊客数の増加で売上はほぼ前年並みにまで回復している。一方、宴会部門は企業の予約が1月以降落ち込んでおり、今月に入っても低調である。飲食部門は値引きによって来客数を確保しているが、売上は前年を4～5%下回っている。
	都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・春休み以降も個人客の動きが良く、前月に続いて稼働率は前年比で10ポイント近く伸びている。ただし、客単価は低下しているため、売上は前年並みにとどまっている。一方、一般宴会は前年並みとなっているが、婚礼が全く伸びていない。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・海外旅行の高額商品に予約が入るなど、売上が伸びている。ただし、予約客数や国内旅行の受付金額については予断を許さない状況である。
	遊園地(経営者)	来客数の動き	・新聞販売店で配布する招待券がこれまで来園者の約半数を支えていたが、既に配布がなくなったにもかかわらず、来園者数が増加している。
	その他レジャー施設[イベントホール](職員)	お客様の様子	・恒例、新規共にイベントの予約状況が数か月先まで順調であり、来場者も節約疲れで飲食物やグッズの購入量が増えている。
	住宅販売会社(従業員)	競争相手の様子	・過去に高額で開発素地を取得し、採算が合わずに凍結となる案件が多かったが、減損処理や建設費の低下で適正価格での販売が可能となり、再開される案件が出てきている。
	その他住宅[展示場](従業員)	来客数の動き	・住宅展示場でのアンケート数は前年比で増加しており、3年以内に家を建てる予定者も増加している。
	その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・新築マンション業界では、大手企業を中心に新たな事業用地の取得意欲が高まっている。特に、来年度以降の事業について活発な動きが始まっている。ただし、あくまでも大手企業が中心であり、中小業者の間では融資条件の厳しい状態が続いている。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・天候不順の影響で客単価が下がり、来客数も増えない状態が続いている。
	一般小売店[衣服](経営者)	来客数の動き	・悪い状況が今月も継続している。
	一般小売店[精肉](管理担当)	お客様の様子	・今年の正月ムードが明けたところから値下げの動きが強まっていたが、ようやく祝い事や年度末などの節目では、物の動きに少し変化が出てきた。底を打ったとまでは感じないが、悪化傾向が少し止まった感が出てきている。
	一般小売店[菓子](経営企画担当)	販売量の動き	・1月と4月の売上前年比を上位5店舗の平均で見ると、関西は1月が87.2%で、4月が95.2%となっている。一時の落ち込みを脱して若干の回復傾向となっているが、これは前年が新型インフルエンザで大きく落ち込んだ影響が大きい。
	一般小売店[衣服](経営者)	販売量の動き	・今年は春物衣料の売行きが非常に悪いが、天候不順によるものであり、景気の悪さが影響しているかどうかは判断が難しい。
	一般小売店[菓子](経営者)	お客様の様子	・消費者は日々の生活費を切り詰めており、景気が回復して給与水準の上がっている感はない。
	一般小売店[野菜](店長)	単価の動き	・野菜の価格が上がっており、客の買物姿勢がシビアになっている。

一般小売店 [花] (店長)	販売量の動き	・客の買物姿勢が非常にシビアであり、必要以上に買うことはない。この半年間は必要最低限しか売れない状態が続いている。
一般小売店 [雑貨] (店長)	販売量の動き	・販売量が低迷したまま、一向に上向かない。
一般小売店 [酒] (店員)	単価の動き	・客単価が思ったほど伸びていない。
一般小売店 [菓子] (営業担当)	販売量の動き	・相変わらず商品の動きが芳しくない。
百貨店 (売場主任)	来客数の動き	・食料品では生鮮部門のリニューアルにより集客を図っているが、入口部分の工事が来客数に大きく影響している。
百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・食品関連や一部のブランドは好調であるが、ただ単に価格の安い物や、季節感のない物は非常に動きが鈍い。
百貨店 (企画担当)	お客様の様子	・客の動きは依然慎重であるが、数万円、数十万円レベルの美術展での売上が計画を大きく上回るなど、明るい兆しも出てきている。
百貨店 (営業担当)	販売量の動き	・今年に入って富裕客の動きが良くなった感があったものの、ここへきて天候不順で衣料品の売行きが悪くなっている。宝飾品の動きはまずまずであったが、全体的には頭打ちとなっている。
百貨店 (店長)	販売量の動き	・前月は客が買い控えに我慢できなくなったことで、上向きの様子が出てきたが、今月は天候不順がかなり大きく響いている。ファッション関連を中心に、売上が前年の水準に届いていない。
百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・気温の異常な低下でコートやブルゾンなどの防寒衣料が売れるなど、今年は春物需要が吹き飛んで、一気に初夏物に移る可能性が出てきた。全体的には、バッグやアクセサリー、シューズでは高級ブランド品を購入しても、衣料品はできるだけお金を使わずに品数をそろえたいという傾向に変化はない。
百貨店 (外商担当)	単価の動き	・衣料品の販売価格が下がっている。
スーパー (経営者)	お客様の様子	・周囲に競合店が多いため、客はその日のチラシを見て買い回りしている。
スーパー (店長)	お客様の様子	・野菜価格が上昇すれば、通常は売上の上昇につながるが、各社のチラシ価格によって来客数が左右されている。また、天候不順で初夏物や行楽関連の需要が芳しくない。
スーパー (店長)	お客様の様子	・来客数は回復傾向にあるが、客単価は下がったままとなっている。客はどの商品をどの店で買うかを決めて買い回りするため、店舗単位では業績回復が進んでいない。
スーパー (店長)	お客様の様子	・客単価が前年を下回っており、特に衣料品は厳しい状況となっている。
スーパー (店長)	来客数の動き	・今月も前月に続いて寒暖の差が激しく、衣料品やエアコンなどの季節商材が苦戦している。食料品や日用品の販売点数には回復の兆しがみられるものの、1品単価の下落で前年売上の確保が厳しい状態である。
スーパー (経理担当)	販売量の動き	・野菜価格の高騰により、野菜の値引きが来客数、販売量の増加につながっているが、それ以外の販売は落ち込んでいる。また、もやしや袋詰めの加工野菜の販売量が増加するなど、まだまだ客の節約意識が強い。
スーパー (広報担当)	お客様の様子	・一部の新品や高付加価値品の動きが戻りつつあるが、天候不順によって買い回り品の需要が一挙に縮小している。景気の底は近いが、回復の足取りは一進一退の状況である。
スーパー (社員)	競争相手の様子	・ほぼ1年にわたって低下を続けた客単価は、前月以降やや下げ止まり傾向となっている。ただし、当社の店舗周辺では競合店の出店が活発化しており、既存店売上の振るわない状況が続いている。
スーパー (販売担当)	販売量の動き	・客の買い回りにより、広告に掲載した商品には朝に行列ができるほどである。一方、母の日に関連した花の売行きは、前年の半分程度に落ちている。
スーパー (管理担当)	販売量の動き	・従来と変わらず、購買点数が伸びてこない。

スーパー（企画）	お客様の様子	・依然として高額商品の動きが鈍いほか、その季節しか着られない商品やファッション性の強い商品の買い控えは、依然として続いている。
コンビニ（店長）	それ以外	・例年3月以降は売上が上向くものの、天候不順により今年は厳しい状況にある。また、消費者の節約志向でコンビニでもデフレ傾向は強く、低価格の弁当やおにぎりをそろえているが、販売量は伸びていない。
コンビニ（マネージャー）	来客数の動き	・気温の低い日が続ぎ、春夏物の商品の動きが鈍くなっている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・ウインドウショッピングのみの客が多く、レジまで客が来ない。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・先行きの不透明感を払しょくできる材料はなく、依然として客の財布のひもは固いほか、低価格志向が続いている。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・客の購買意欲が落ち着いてきたため、新車販売はあまり良くない。車齢が13年を超える客もいるが、なかなか受注にはつながらない。
乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・エコカー購入補助金などがきっかけに商談に結びつくケースが減り、2年前の状態に戻りつつある。車検などのメンテナンスも最小限に抑える客が更に増えている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数が前年よりも減っており、目標の80%にも満たない。
住関連専門店（店長）	それ以外	・業界では景気が戻りつつあり、忙しくなってきた同業者も出てきている。その一方、売上が前年を下回る同業者もあり、当社も依然として苦しい状況にある。企業によってばらつきが大きく、業界全体が回復した感はない。
住関連専門店（店員）	お客様の様子	・季節商品を少しでも安く買うために、時期をずらして買う客が増えており、入学式を過ぎても学習机が売れている。
その他専門店【宝石】（経営者）	来客数の動き	・株価の回復に伴い、客の表情が少し変わってきている。ただし、今月は天候不順のため、天気の良い日と悪い日で来客数に差が出ている。
その他専門店【医薬品】（経営者）	単価の動き	・今月は寒暖差が激しかったが、薬の動きは芳しくない。季節外れの携帯用カイロが日によって多く売れたものの、高級化粧品の動きは悪く、商品のランクを下げて購入している感がある。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と変わらないが、前年は新型インフルエンザの影響で落ち込んだため、良くなった感はない。
その他専門店【医薬品】（店員）	来客数の動き	・相談客を含めた来客数が若干減少しつつあり、購入商品数、客単価共に悪化している。
一般レストラン（店員）	来客数の動き	・新年度を迎えたが、新たな動きはない。
その他飲食【コーヒーショップ】（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価共に変化はない。
観光型ホテル（経営者）	単価の動き	・前年は非常に販売量が落ち込んだが、今年も前年並みの販売量となっている。宿泊や館内消費の客単価が下がった分を、来客数の増加でカバーする状況が続いている。
観光型旅館（経営者）	単価の動き	・単価が安い商品には客の反応がみられる。
観光型旅館（団体役員）	お客様の様子	・ゴールデンウィークを控えているにもかかわらず予約状況には余裕があるほか、1品単価が上がらない。
都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・来客数の多少増える傾向が続いているが、客単価の低下により、売上は増えていない。
都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・宿泊部門は前年を上回る稼働で動きは若干良かったが、レストラン、宴会部門に大きな変化はない。特に、個人消費のバロメーターであるレストランの来客数が前年をやや下回っている。

旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・上海万博を目前に控えて旅行需要の盛り上がりを期待しているが、開幕直後の3日間やゴールデンウィーク期間を除くと反応が鈍く、まさにバンクーバーオリンピック前の雰囲気と似ている。ゴールデンウィークの予約もアイスランドの噴火やタイの政情不安などで最終的な盛り上がりには欠けている。	
タクシー運転手	競争相手の様子	・新年度を迎えて歓送迎会に伴う利用があるものの、それ以外に良くなっている感はない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・雨が多かったため、傘代わりの利用が増えた。歓送迎会などに伴う利用もあり、最悪の状態に比べれば良くなっている。	
タクシー運転手	競争相手の様子	・貸切りでの利用が少ないなど、目立った動きがない。	
タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・1台当たりの売上は微増となったが、季節要因のほか、雨が多かったという天候要因の影響であり、平常時の需要は低迷している。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・客からの値引き要請が増えている。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・スマートフォンが一部で話題を呼んでいるが、供給が少ないため、大きな目玉にはなりにくい。	
通信会社（社員）	販売量の動き	・今月の売上も前月と比較して伸びている。月額利用料の不高くない、光ファイバーを使ったインターネット契約の伸びが顕著である。	
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・これまで動きの比較的良かった、子ども向けカード機の売上が芳しくないため、新製品の投入を見送っている。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今年は前年のような新型インフルエンザの影響がないにもかかわらず、来客数が期待したほど伸びていない。	
ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・今年は寒暖の差が大きく、雨も多かったことで予約が伸びず、キャンセルも出ている。しかし、天候だけの問題ではなく、料金やサービスといった企画そのものも問われている。	
競輪場（職員）	販売量の動き	・新聞などでは景気回復の兆しについて報じられているが、売上などには全く動きがない。	
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	お客様の様子	・天候不順による集客減が大きいいため、実質的な動きは分かりにくいだが、少なくとも観光地での消費の動きは弱い。	
美容室（店長）	単価の動き	・セット販売を行っている化粧品で8年ぶりに新商品が出たため、来客数は前年並みとなっている。	
その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	販売量の動き	・書籍の売上はタイトルにも恵まれて順調であったが、レンタル売上は価格競争の影響で相変わらず前年割れが続いている。	
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規客が増えず、手詰まり状態となっている。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・顧客数に大きな変化はないが、買換え客が減少傾向にある。将来に対する不確定要素が多いため、積極的な住宅の買換えを控えている感がある。	
住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・展示場への来客数はあまり変わらないが、契約までに要する時間が長い。住宅版エコポイントや太陽光関連の補助金の効果が多少あるため、現状を何とか維持できている。	
その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・不動産の取引件数の増加傾向が続いている。	
やや悪くなっている	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	お客様の様子	・年度末は良かったものの、4月に入って商談件数が減少している。新学期に入ったことで期待していた店頭売上も芳しくない。
	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	単価の動き	・特売品は売れているが、ほかの商品は売行きが鈍化している。

百貨店（売場主任）	お客様の様子	・不安定な天候により、春物衣料を中心に厳しい状況が続いている。バーゲンや低額商品の投入で対応しているものの、大きな効果はみられない。不要不急の商品に対する購買意欲は依然として低く、ファッション関連の嗜好品の購入は後回しになっている。	
スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年に比べて最高気温が低く、野菜の相場高につながっているほか、サラダ、飲料の落ち込みで販売点数が伸びない。販売促進を強化すれば、その日の来客数は増え、販売点数も伸びるものの、1週間単位でみると前年を下回っている。	
スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数の前年比が92%であるのに対し、売上は88%と、4ポイントほど悪い状態となっている。	
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の建設工事が終了し、関係者による1日2～3回の利用がなくなったため、売上が減少している。	
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣のオフィスビルの空室率が更に上昇し、購買人口の減少につながっている。	
コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が下がっており、新商品でも価格が少し高ければ動きが悪いほか、天候不順や雨が多かったことで来客数にも影響が出ている。	
コンビニ（店員）	販売量の動き	・寒暖の差が激しく、弁当や焼き立てパンの売上がやや落ち込んでいる。	
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は売上がかなり悪い。前年の70～80%で推移しており、例年は春の定価品が売れるはずが、特価品などの値下げ商品や低額品ばかりが売れ、高額品が全く動かない。スーツ類やジャケット、コートも1万円までの商品しか動いていない。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候不順の影響が大きく、販売促進に力を入れたものの来客数、売上共に減少している。	
衣料品専門店（営業・販売担当）	販売量の動き	・店からのPR、売り込みに対する客の反応がない。	
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・買い控えがますます進んでいる。	
家電量販店（店長）	販売量の動き	・エコポイント制度が3月で終了すると勘違いした客が多く、需要の先食いにつながったことで売上が落ちている。また、メーカーの在庫が枯渇しており、各量販店でも在庫がなくなっている。特に、テレビは配達1か月後といったケースが増えている。	
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・3月末から客の様子が変わって厳しい状況となり、今月は全店の販売台数が前年の1,620台から875台に減ったほか、店舗当たりでも30台から17.5台へと大きく減少している。	
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・4月は昇給月であるが、昇給した客はいないどころか、リストラで無職になる客がいる。当社の求人にも大学の新卒者で就職できなかった人が応募してくるなど、以前では考えられない状況となっている。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3月後半から来客数が減少し、客単価も前年を5%近く下回っている。当社はファミレス業界でやや高額のイメージがあるため、大きな打撃を受けている。	
観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・花見などの観光客による集客増に期待したが、天候不順もあり客の数は例年よりも5%ほど落ち込んでいる。	
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規の問い合わせが減っている。	
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候不順で客の購入意欲が一気に冷え込んでいる。通行する人は少ないほか、野菜価格などの上昇で財布のひもも固くなっている。
	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・既存店売上の減少を新規販売でカバーするのが精一杯で、現状維持すら難しい状態である。
	一般小売店〔花〕（店員）	販売量の動き	・天候不良による野菜などの価格上昇の影響を受け、販売量が落ちている。さらに、生花も原価が高騰し、利益が圧迫されている。
	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークを控えて支出を抑えているのか、客の購入意欲が低下している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は前月にも増して暇であった。期待していた職場の異動に伴う団体客もなく、例年になく暇な4月となっている。

		タクシー運転手	来客数の動き	・企業の利用がほとんどなく、一般客の利用も寒い時期に比べると減っている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,803円と、1月の11,708円に比べて悪化している。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	取引先の様子	・4月に入って受注量が安定している。連休前の受注量も前年より増えている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地域や業種による差はあるが、様々な得意先で業績が回復している。売上が前年比で120%を超える得意先も増えてきている。	
	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・納期の短い注文が多いものの、3か月前とは比較にならないほど受注が増えている。ただし、以前が悪過ぎたため、全体量としては少ない。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鋼材値上げを予想した仮需が発生し、荷動きは活発となっている。	
	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設関連の需要はまだまだ良くないが、車両をはじめとする輸出関連の出荷が安定してきている。	
	一般機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先から、仕事が増えるので対応できる人員を増やしてほしいとの依頼が来ている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子、情報機器分野の製品出荷が急激に回復し、工場稼働は年初から100%を超えている。今月もその勢いが続いており、良い状況となっている。ただし、近隣の商店や飲食店では閉店が続いているため、本当に安心できる状態ではない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・製造業では中国やアジア向けの輸出が増えつつあり、工場の稼働率が上がってきている。ただし、コスト面での厳しさは変わらず、同業種でも企業ごとの格差が目立つ。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・戸建住宅、マンション共に成約率が上昇してきたのに伴い、当社の受注量も増加し、前年を若干上回っている。	
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・エコポイント制度により薄型テレビなどは堅調な荷動きが続いているほか、前年の4月に太陽光発電の買取制度が導入されたことで、住宅への太陽光発電設備の設置が大幅に増えている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末を終えて受注は落ち着いていたが、土壌汚染対策法の改正もあり、例年よりも問い合わせが少し増えている。	
	金融業（支店長）	取引先の様子	・マスコミの報道もあって住宅版エコポイントへの消費者の関心が高まり、低額な工事を中心であるものの、取引先の建売業者の売上は好調に推移している。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折り込み広告の件数が増えており、前月に続いて良くなっている。	
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・関西でも徐々に、マンション販売会社からのダイレクトメールやチラシの注文が増え始めている。また、事業仕分けの影響により、独立行政法人から価格の見直しに関する問い合わせが相次いでいる。	
	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・物の動きが出始めており、同業者にも前年の売上を上回る会社が増えている。前年は売上が2割程度落ち込んだ会社が多いため、2年前には程遠い水準であるものの、確実に回復している。	
その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・テレビスポット広告の需要に、回復の兆しが出てきている。		
変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ソース業界では価格の下落が進む一方、販売量は全体的に横ばい傾向となっている。依然として低価格品の動きが中心であるが、販売量で何とかカバーしているため、大きな変化はみられない。	
	食料品製造業（経理担当）	それ以外	・商品価格は下がる一方であるが、主原料の砂糖価格は1年半前よりも10.5%上昇するなど、原材料コストの上昇で利益が出なくなっている。社員の所得は増えず、売上も前年から変わっていない。	

	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・地域ブランドとしての取組により、当地のタオルも認知度が徐々に高まっており、需要が増えている。ただし、景気全体が良くないため、タオルそのものへの需要が伸び悩んでおり、全体的には低調な動きとなっている。
	出版・印刷・関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き	・新年度が始まり、大手企業の輸出部門では販促物が動き出したが、国内向けの広告宣伝は依然として動きが鈍く、特に住宅や製造業関連は顕著となっている。ただし、電機などの弱電業界はエコポイント制度の延長などで販促物は活発に動いている。
	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・4月の売上は前年比では21%増、3か月比では8%減となっている。ただし、1月の売上が過去1年で最高の水準であったことを考えれば、3か月前比は実態として横ばいに近い。
	金属製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が上昇傾向にある一方、受注では相変わらず安値競争が続いている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の顧客には原子力発電関連の企業が多いが、従来と変わらず活況を呈している。一方、一般的な製品に関する設備投資も活発になってきている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注の増えている取引先と減っている取引先があり、一概には判断できない。
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・季節的な動きで少し良かったが、2～3か月先の販売計画さえ満足に立てられない状況に変化はない。
	その他製造業〔履物〕（団体職員）	取引先の様子	・例年のゴールデンウィーク前は各メーカーが仕事に追われていたが、今年は落ち着いている様子である。
	その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・店舗での商品の回転数、客単価が低迷している。
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク前の駆け込みで一時的に航空、海上の輸入貨物の配達が増えているが、継続的な動きではない。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・2、3月の受注量は少し増えていたが、4月になって前年を大きく下回っている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度になっても、広告出稿の現場では良い話がなかなか聞かれない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・本当に良い話がなく、特に顧問先の食品スーパーは業況が悪化している。売上が前年比でプラスになることがなく、ここ数年はマイナス幅の大小で景気の良し悪しを語る状況が続いている。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客企業の業界では回復が遅れており、売上、利益なども今一つ良い方向へ向かっていない。
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・注文や見積量が一向に増えず、低いままの状態に変化がない。
やや悪くなっている	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・商品の値引きが当たり前の状況が続いているが、取引量は増えず、薄利多売とはいえない。売上も減少しているため、新しい販売ルートを探している。
	化学工業（企画担当）	それ以外	・売上は上がったものの、原料油脂や鉄鋼といった原材料価格が再び上昇傾向を示している。
	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。商品の品質よりもいかに価格を安くすることが最優先となっているため、同業他社に受注が流れている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・各大手メーカーが、川上の部品関連の工程から最終製品の生産工程まで中国へ移管し、国内の空洞化が進んでいる。
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・最近では、仕事量の減少や価格競争の激化により、同業者の倒産、廃業が増えている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春先から住宅の販売現場への来場者は増えてきたが、購入予算の減少で客単価が悪化している。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先のショッピングセンターの売上が、4月後半から前年比で70%台に落ち込んでいる。1、2月も良くなかったが、ここへきて消費不振が顕著になりつつある。
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークの前は例年忙しくなるが、今年はそれほどではない。

	悪く なっている	一般機械器具製 造業（設計担 当） 電気機械器具製 造業（営業担 当） 不動産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き 受注量や販売量 の動き 取引先の様子	・受注量はまだまだ少ない。 ・中古品の販売や修理の依頼もないため、今月は売上が特に悪い。 ・店舗や事務所の解約が依然として続いており、解約後のテナントも入らないため賃料が低下している。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・新年度に入って人材派遣の依頼は予想どおり増えており、前年に比べても受注量が数段伸びている。また、労働者派遣法の改正に関する問い合わせも増えているが、現在扱っている26業種に関しては影響がない。
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・輸出の伸びや外国株に連動した株価の上昇など、外需依存型の緩やかな景気回復が続いており、派遣需要もほぼ前年並みにまで回復している。
		人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・今年度に入り、まとまった人数の中途採用を計画している金融機関が増えている。相変わらず採用基準は厳しいが、少しは回復に向けた動きが出てきている。
		求人情報誌製作 会社（企画担 当）	周辺企業の様子	・大手、準大手企業の求人数が好転している。
		新聞社〔求人広 告〕（管理担 当）	採用者数の動き	・一部で広告の受注が増えている。特に、これまで最小限の人員で業務を行っていた企業による、キャリア募集が出てきている。
		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・新規求職者数が減少傾向にあるほか、求人数が若干ながら増加傾向にある。ただし、あくまで前年比で増えただけであり、水準としてはまだまだ厳しい。
		職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・雇用調整を実施している事業所数が減少傾向にあるほか、多くの事業所で休業日数が減っている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・管内の新規求人数は前年比で20%増となっている。ただし、減少の続いている安定所もあるなど、状況は様々であるほか、最近の増加傾向はパート求人の増えた影響が大きい。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数が2年8か月ぶりに前年を上回っている。特に製造業は27.8%増と、生産の回復が求人にも波及する動きがみられる。
		民間職業紹介機 関（支社長）	求人数の動き	・年明けから求人数が順調に増加している。例年4月は新卒採用の影響で求人が落ち込むが、今年はその落ち込みも少ない。
	変わらない	人材派遣会社 （支店長）	採用者数の動き	・新年度のスタートは例年動きが鈍いほか、事業仕分けの第2弾が始まったこともあり、新規受注が非常に少ない。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・看護師などの医療関係の求人が活発に動いているほか、運輸関係の求人も底堅いが、全体としては低調である。
		新聞社〔求人広 告〕（営業担 当）	求人数の動き	・求人数が各業種で伸び悩んでいる。
		新聞社〔求人広 告〕（担当者）	それ以外	・新年度となり、周囲からは景気回復の動きが活発化している雰囲気を感じるが、当社の受注には表れていない。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・前月は求人数が良くなったものの、今月に入って伸びが低下している。例年4月は求人数が増加傾向となるが、今年には補充求人の相談はあるものの、採用そのものは控えられている。
		民間職業紹介機 関（職員）	求人数の動き	・前年の落ち込みが大きかったこともあり、建設部門の日雇求人の減少が緩和している。
		民間職業紹介機 関（大学担当）	採用者数の動き	・大手企業では海外からの受注が回復しつつあるとの声が聞かれる。それに伴い、中途採用ニーズが徐々に高まっているが、この恩恵が中堅、中小企業に波及するには時間が掛かる。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・企業を訪問しても採用姿勢の二極化が進んでいるほか、業界による大きな格差もみられる。
	やや悪く なっている	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・4月の求人企業数が前年比で19.6%減と、求人の動きが非常に悪い。

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---